

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-57164

(43)公開日 平成8年(1996)3月5日

(51)Int.Cl.*	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
A 6 3 H 33/10	G			
E 0 4 H 15/44				

審査請求 未請求 請求項の数1 FD (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平6-225807

(22)出願日 平成6年(1994)8月25日

(71)出願人 000132998

株式会社タカラ

東京都葛飾区青戸4丁目19番16号

(72)発明者 上西 宏治

東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会
社タカラ内

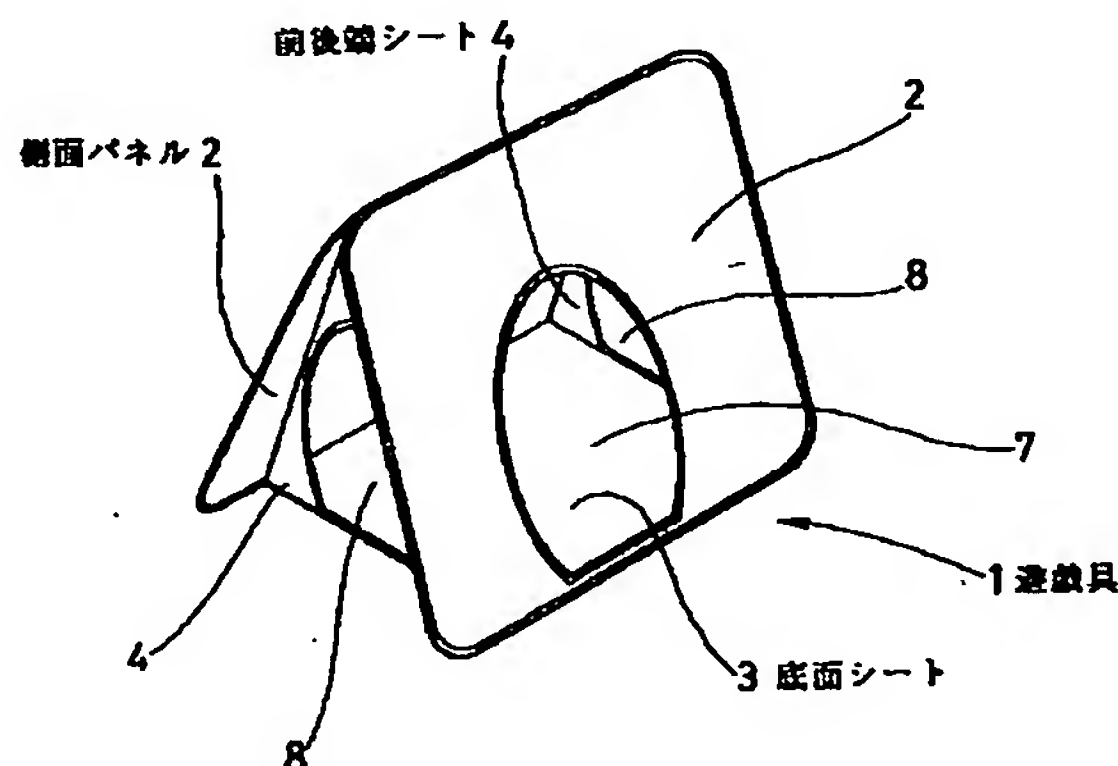
(74)代理人 弁理士 瀬川 幹夫

(54)【発明の名称】 テント型室内遊戯具

(57)【要約】

【目的】展開と折りたたみが容易で、収納時に場所を取らないテント型室内遊戯具を提供すること。

【構成】それぞれ略方形に形成された2枚の側面パネル2と底面シート3と前後端シート4とから五面体状に形成し、上記側面パネル2には略方形のシートの周縁部に弾性を有する芯材4を埋設するとともに、上記側面パネル2又は前後端シート4には子供が通れる程度の開口部7、8を形成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 以下の要件を備えたことを特徴とするテント型室内遊戯具。

(イ) それぞれ略方形に形成された2枚の側面パネルと底面シートと前後端シートとから五面体状に形成されていること

(ロ) 上記側面パネルは略方形のシートの周縁部に弾性を有する芯材を埋設してなること

(ハ) 上記側面パネル又は前後端シートには子供が通れる程度の開口部が形成されていること

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、テント型に展開され、丸く折りたたみできるテント型室内遊戯具に関する。

【0002】

【発明の背景】特に室内で遊ぶ遊戯具の中で、ブランコや滑り台がよく知られているが、遊びで使用しない時は室内における専有面積が大きく、収納場所に苦慮している。そのため分解可能に形成されたものもあるが、子供が組み立て、分解するのは無理があり、その結果常時組み立てたままベランダなど室外に放置され、雨風で短期間に損傷し、使用に耐えなくなっているのが実情である。

【0003】

【発明の目的】本発明は、前記背景の下に成立したものであって展開と折りたたみとが容易で、収納時に場所を取らないテント型室内遊戯具を提供することを目的とする。

【0004】

【目的を達成するための手段】前記目的を達成するために本発明のテント型室内遊戯具は以下の要件を備えたことを特徴とする。

(イ) それぞれ略方形に形成された2枚の側面パネルと底面シートと前後端シートとから五面体状に形成されていること

(ロ) 上記側面パネルは略方形のシートの周縁部に弾性を有する芯材を埋設してなること

(ハ) 上記側面パネル又は前後端シートには子供が通れる程度の開口部が形成されていること

【0005】

【発明の作用、効果】前記構成によれば、2枚の側面パネルと底面シートと前後端シートとが五面体のテント型の遊戯具を形成する。側面パネル又は前後端シートには開口部を形成してあるので子供が一方の開口部から入って他方の開口部から出るトンネル遊びをすることができる。

【0006】そして、側面パネルの周縁には弾性を有する芯材が埋設されているので、2枚の側面パネルを重ね、芯材を捻りながら全体を丸く折りたたむことができるとともに、芯材の弾性復元力によって2枚の側面パネ

ルは方形状に復元するから簡単にテント状に展開できる。展開と折たたみとが容易で、収納時に場所を取ることがなく、釘ねじ等を使用していないので安全で取扱に優れたテント型室内遊戯具を提供することができる。

【0007】

【実施例】以下、図面によって本発明の実施態様について説明する。

【0008】図1において符号1は、展開した状態のテント型室内遊戯具を示し、この遊戯具1は側面パネル2と、底面シート3と、前後端シート4とから構成されている。

【0009】図2に示すように、側面パネル2は芯材5と覆いシート6とから構成され、2枚の側面パネル2は、展開時には上端を中心に下端が開いて屋根を形成するとともに、折たたみ時には2枚の側面パネル2が重なるように、上端が互いに連結されている。

【0010】芯材5は断面が長方形の帯状のバネ等の弾性部材を溶接等で両端部を連結し、連続した環状に形成されている。この芯材5は後述する覆いシート6の周縁に形成された収容部6aに埋設されている。

【0011】覆いシート6はナイロン等の合成樹脂製のシートや布材からなり略方形に形成され、周縁には上記芯材5を埋設する筒状の収容部6aが形成されている。この収容部6aの断面は図3に示すように、芯材5の断面に比較して大きく形成され、折りたたみ時に収容部6aの内部を芯材5が滑動自由になるように設けられている。

【0012】一方の側面パネル2の略中央には子供が遊戯具1内部に自由に出入りできるように、開口部7が形成されている。

【0013】なお、開口部7の周縁はアクセントを兼ねて補強のための縁どり7aがなされている。

【0014】底面シート3はナイロン等の合成樹脂や布材からなり略長方形に形成され、長手方向の両側縁は上記側面パネル2の下端縁に連結されている。

【0015】なお、遊戯具1の前後端面には、図1に示すように子供が通過可能な開口部8を形成したナイロン等の合成樹脂製のシートや布材からなる略三角形の前後端シート4で塞がれている。

【0016】上述のように構成された遊戯具1は図1に示すように、展開時には全体がテント型をなし、側面パネル2に形成された開口部7から遊戯具1内に入り込んで前後端シート4に形成された開口部8から出たり、また開口部8から入って開口部7から出たりしてトンネル遊びとして楽しむことができる。

【0017】そして、図4に示すように底面シート3を内側に折り込んで側面パネル2、2を重ね合わせ、重ね合わせた側面パネル2の一对の相対する側部c、d(図5(a)参照)を持って捻りながら(図5(b))、a点とb点とを向かい合わせるように近づけた後(図5

10

20

30

40

50

3

(c))、b点をa点の下に潜り込ませながら重ねると(図5(d))、図5(e)に示すように芯材の弾性力で、丸く重なって折たたむことができる。

【0018】また、ねじ止めや、組み構造を必要とせず、芯材5の弾性力で丸くなるので子供でも容易に折りたたむことができ、テント型に展開した状態で室内に放置されることがなくなるとともに、釘やねじを使用していないので幼児が怪我をすることがなく、安全で取扱に優れた遊戯具を提供することができる。

【0019】さらに、スペースを必要としないので収納が容易になるとともに、持ち運びが簡単になるので、屋外へ持ち出して使用することができる。

【0020】なお、折りたたんだ遊戯具1は重なり部分を引き離すように広げると、芯材5の弾性復元力で容易

4

にテント状に復元させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の遊戯具の構成を示す斜視図

【図2】側面パネルの一部を破断して示す正面図

【図3】図2のX-X上の断面図

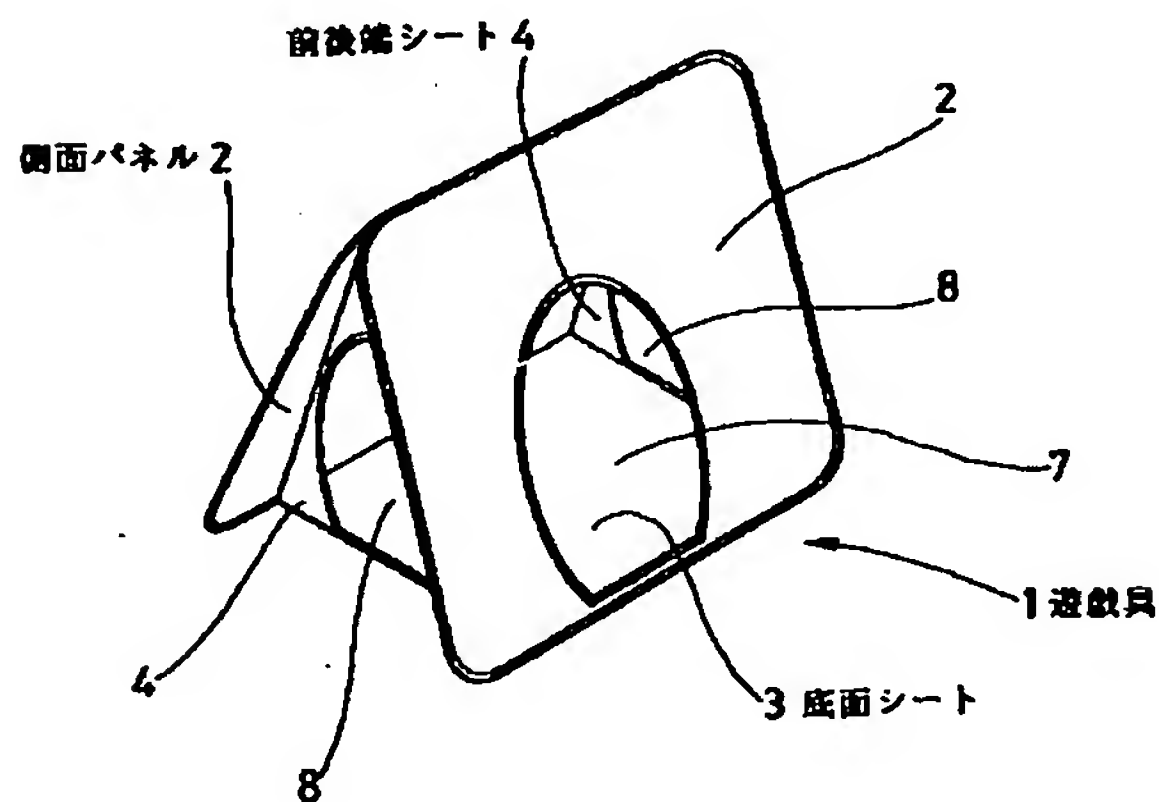
【図4】側面パネルを重ねた状態を示す斜視図

【図5】遊戯具の折りたたみ過程を示す説明図

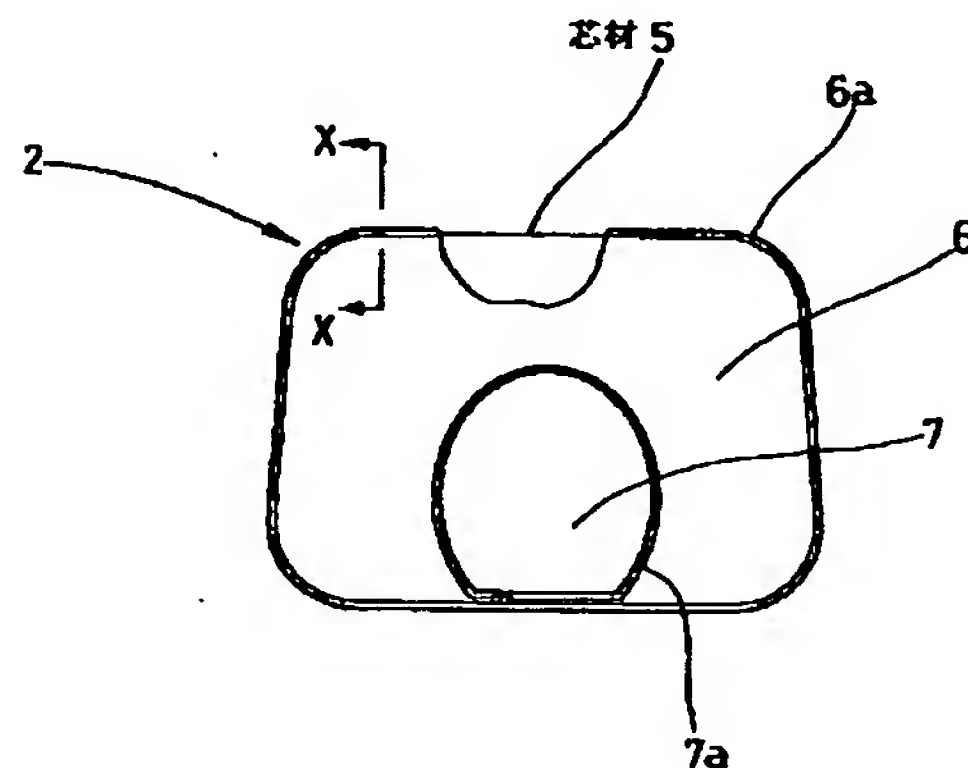
【符号の説明】

- 1 遊戯具
- 2 側面パネル
- 3 底面シート
- 4 前後端シート
- 5 芯材

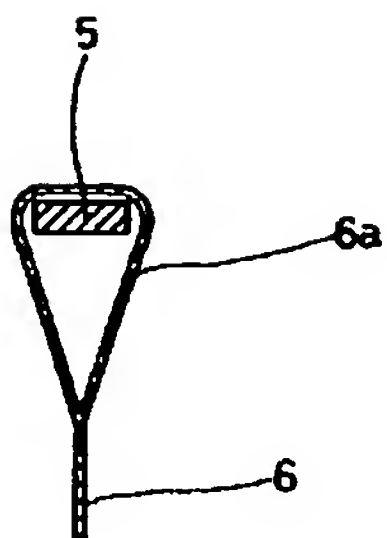
【図1】



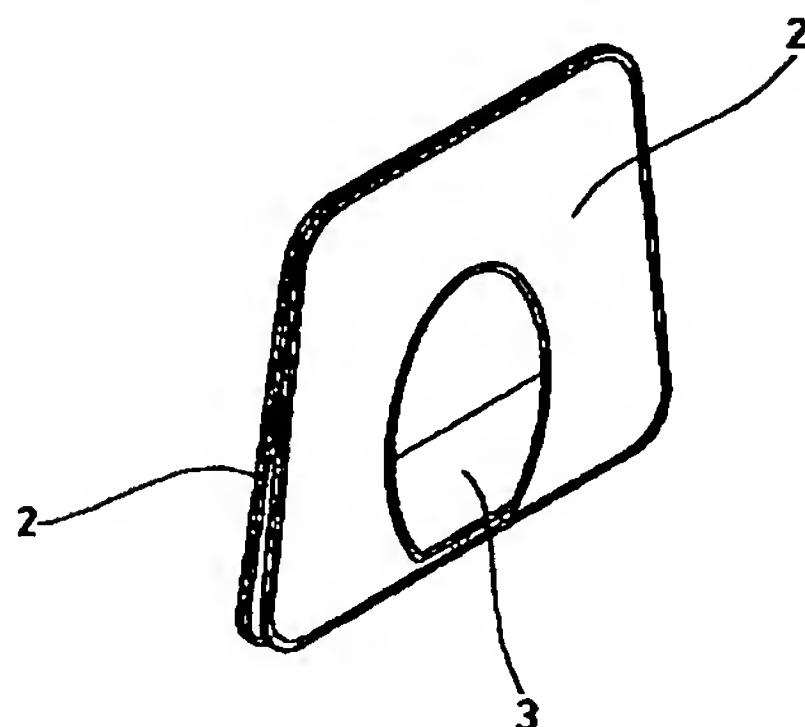
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

